



第40回九十九祭(大学祭)の様子。

医療技術学部 臨床検査学科の新設について

[設置認可申請中] 予定であり、変更となる場合があります。



北海道医療大学 副学長 黒澤 隆夫

北海道医療大学は薬学部、歯学部、看護福祉学部、心理科学部、リハビリテーション科学部を順次設置し、5学部8学科による多様な領域の医療人養成を行う医療系総合大学として発展を続けてまいりました。その間、学部横断的な教育・研究を担う数多くの研究センターや多様な学習と実践の場として、心理臨床・発達支援センター、認定看護師研修センター、薬剤師支援センター、地域包括ケアセンター等を設置し、医療にかかわる優れた人材の育成を行ってきました。このように本学の建学44年の歴史は、社会のニーズに沿った医療人としての人材育成に取り組んできたものであり、「新医療人育成の北の拠点」として北海道に限らず日本全国、世界各国へ向けて人間力と臨床力に秀でた人材を送り続け、医療系総合大学として揺るぎない地位を占めております。

このたび、第6番目の新たな学部として「医療技術学部 臨床検査学科」の2019年4月開設をめざし、2018年3月に設置認可申請を行いました。新学部は札幌あいの里キャンパスに設置予定で、すでに一部の専任予定教員が就任し、次年度からの新入生受入れ準備を行っているところであります。

最近の臨床現場においては、急速な医療技術の進展はもとより高度に専門性が高まり、看護や理学・作業療法などの医療系技術職の養成では、大学の4年制課程による教育が中心となりつつあります。臨床検査技師は、医療現場において、検査試料を通じて得られた生理検査、病理検査結果を正しく意味のあるデータとして提供するばかりなく、超音波診断や心電

図測定などの生体検査にも携わり、診断・治療のベースとなるデータを提供し、重要な専門医療職を担っております。このように、医療系技術職の中でも高い専門性が要求される臨床検査技師の養成に関して、道内では、4年制の教育課程は北海道大学のみであり、専門学校が主としてその養成を担ってきました。今後の臨床検査技師教育では、世界標準を意識した精密・正確で、高度な臨床検査技術を修得するための4年制養成教育が主流となるものと考えられます。

さて、医療系総合大学として、医療人の養成と教育研究の質の向上をめざす本学の目的養成分野は薬学、歯学、保健衛生学関係となりますが、2014年から、保健衛生学関係が看護学関係、リハビリテーション関係及び臨床検査学・栄養学等の3分野へと分割されました。このため、新学部は、既存の看護福祉学部、リハビリテーション学部とは異なる保健衛生学関係分野となり、新設として設置認可申請をする必要がありました。開設が認められれば、ほぼすべての医療技術職(保健衛生関係の3分野のいずれかに分類される学位を持つ課程)の養成へと拡充することも容易になります。

新学部の開設による高度な技術と知識を有する臨床検査技師の育成は、医療のベースとなる科学的根拠に基づいた診察・治療に加えて、広く健康の維持や疾病の予防にも関与し役立つものと確信しており、医療系総合大学として、本学が更なる飛躍を遂げる新しい礎になるものと期待しております。今後とも皆様の温かい支援をお願い申し上げます。

CONTENTS

医療技術学部	1
臨床検査学科の新設について	
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介	2
2018年度入試結果報告	3
心理科学部の関口真助教が 学会賞を受賞	
言語聴覚療法学科の高倉祐樹助教が メディカルスタッフ最優秀賞を受賞	
国家試験結果報告	4
国際交流	
就職状況結果報告	5
薬学生セミナー 「学内就職相談会」を開催	
あのととき、これから。医療大。	6
2019年4月、札幌あいの里キャンパスに 医療技術学部臨床検査学科を新設します。	7
私の学生時代	8
OG訪問[歯学科]	9
学校法人東日本学園	10
○2017年度決算 ○2018年度予算	
新入生アンケート結果報告	12
EDITOR'S NOTE	